

第11回 第4分科会会議録（概要）		場 所	新宿区役所第1分庁舎 7階 職員研修室
日 時	平成17年11月25日 午後18時40分～午後20時50分	記録者	【学生補助員】 洪、山口
		責任者	区事務局（熊澤）
会議出席者：37名 傍聴者0名 (区民委員：31名 学識委員：2名 区職員：4名)			
<p>■配布資料</p> <p>①第11回第4分科会会議進行次第 ②第10回第4分科会議事録（概要）③資源循環 参加報告（個人）④第6回「新宿まちづくり学」講座のお知らせ</p> <p>■ 進行内容</p> <p>1. 開会 （i）配布資料の確認</p> <p>2. 本日のテーマ （i）班長会議報告事項 （ii）班からの情報提供 視察報告 （iii）グループワーク</p> <p>3. 事務局からの連絡事項</p> <p>4. 閉会</p> <p>■会議内容</p> <p>【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員</p> <p>1. 開会</p> <p>○： 皆さんこんばんは。第11回の第4分科会を始めさせていただきます。</p> <p>（i）配布資料の確認</p> <p>まず、お手元の資料を確認させていただきます。東京ガスの「ウルトラ省エネブック」という小さな冊子がございます。こちらは小宮委員から提供して頂いたものです。それから緑色のペーパーは、12/8開催の第6回「まちづくり学」講座、こちらは最終回のご案内になります。それから後ほど、資源循環班から視察報告をして頂きますが、班長会で視察報告については、各班できるだけ短く、概ね5分くらいを目安に行うということに決定いたしました。それでは説明しきれないというご意向もあり、資源循環班の佐藤委員から補足資料をお預かりしたものを配布しております。それから、前回の会議概要を資料としてお配りしています。以上です。</p> <p>次に、ご報告です。前回、「中間発表会ワーキンググループ」（以下、中間発表会 WG）のメンバーをこの場で決定いたしました。当日欠席者に対して事務局からご報告し、異議等がある場合についてはご連絡下さるようご通知申し上げました。その結果、どなたからも異議や問合せ等がありませんでしたので、前回決定されたとおり小宮委員、石塚委員及び遠藤委員の御</p>			

三方に中間発表会 WG のメンバーになっていただくということに最終決定させていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。以上、冒頭にご報告させていただきます。

それから本日の進め方ですが、進行次第には班長会と記載しております。今回からリーダー会改め、班長会とさせていただきます。まず、11/11にあった班長会の報告を行いまして、次に班からの情報提供ということで4つの班から視察の報告がございます。その後にグループワークを行い、事務局からの連絡事項を行いまして、おおむね9時前の終了を目途に進めていきたいと思っております。皆さん、よろしくご協力お願い致します。

それでは早速ですが、前回11/11に行われました、班長会の報告をして頂きたいと思っております。それでは班長の皆さん、よろしくご協力お願い致します。

2. 本日のテーマ

(i) 班長会報告事項

- ： それでは、11/11に行われました班長会の各班の進行状況についてご報告致します。

環境と美化班では、道路の使い方について、自転車専用道路を作ったほうがよいのではないかと、歩道にゴミ箱を置いて集めてはどうかといった意見が出ました。公園の使い方については、18日に話し合いが行われる予定であるとのことでしたので、もう行われたことだと思います。

緑化班については、この後班からの情報提供ということで、詳しいご報告があると思っております。なお、5日の会議後、反省会と予定を話し合い、神田川沿いの遊歩道、飯田橋から高田馬場の辺りを歩く予定であるということでした。

環境と経済班は、エコマネーと商店街のESCO事業を検討しているとのことでした。

資源循環班では、廃プラについての話し合いを行ったとのこと、これも詳しい事はこの後に報告があると思っております。

それから、温暖化班では見学会を行いましたので、それにつきましてもこの後説ご明を致します。よろしくご協力致します。以上です。

- ： ありがとうございます。では次に、各班の視察報告で、まずは資源循環班から視察報告をお願い致します。

(ii) 班からの情報提供 視察報告

①資源循環班

- ： 時間を短くとのことでお配りした資料に私個人と書いたのは、前回私が休んだこと、私の個人の意見が沢山入っているのをこのようにまとめました。ですから、これが全員の意見ということではなくて、世の中の資源をただ使って捨てる、燃すということではなしに、資源を大切に使いたい、という視点で私が見て参りましたものとして見て頂きたいと思っております。細かい点は中身を見て頂ければわかると思っておりますので、簡単にご説明したいと思います。

視察というのは7箇所を色々見て参りました。それぞれ非常に真剣に取り組まれていると思っております。新宿区の現状というのは他の区に比べて、パワーが低いのではないかと印象を

受けました。個々の問題については色々ありますので、また後でご質問が有りましたらお受けしたいと思います。私の基本は「拡大生産者責任」をまっとうすることが、資源循環の基本だと思っていますので、それを意識して見て参りました。循環の中で、プラスチックを燃すということではなしに、何か有効に使うということで、ここに書かれていますように昭和電工や（太平洋セメント、）新日鉄の君津製作所といった所に行きまして、どういう風にしたら効率的に資源が有効に活用できるのかということを見て参りました。こういう点も、例えば君津製作所と言われたのですが、新宿のとなりの中野、杉並、文京区では君津製作所と連携をとって色々試験創業を行なっているけども、新宿区にはないようなので、担当の課長さんに聞いてみたところ、工場は見に行ってきたがまだ新宿としては何もしていないということなので、そういう点でも新宿区は他の区に比べて遅れているのではないかなと思いました。

そういった全体の中で、私としては最後に書いてある提案のように、新宿には事業系のゴミが非常に多くて、これは業者に任せていますが、家庭系のごみは半分を業者に任せているという形式で、地区によって色々違うとは思いますが、私が思うには歌舞伎町では非常に混乱しているので、むしろすべて業者に任せてしまい、その代わりに、地区別に具体的に指導するというのを、役所の人としてやって欲しい。ビルの問題で民間に任せてよいのか、役所がどう関わるのかという問題はありますけども、民間に任せても役所の仕事としてきちんとやって欲しいというのが、各事業所、工場を見た私の感想ですので、是非、新宿もそのように取り組んで頂きたい。

その他提案が色々ありますが、私の提案として見て頂ければいいと思います。特に私として申し上げたいのは、色々な形で区長、議会、環境担当の方にも一人で色々提案してきたのですが、話は聞いてくれるものの、ほとんど聞き流しになって何も残ってないというのが現状なので、そういう点をこれからは区の職員を含めた皆さんと討議していきたいと思っています。

- ： ありがとうございます。行政側としては大変耳の痛い意見ですが、ご質問はありますでしょうか。
- ： 冒頭、区民のパワーが低いとおっしゃられましたが、具体的にどういったことですか。
 - ： 例えばここにもありますように、杉並区ではゴミを50%減らすということで、町全体で一生懸命やっているなと感じました。それを達成するために苦勞しているなど。実際の現場まで行って来たのですが、豊島区にしても、廃プラをどういう風にやっていくかと色々具体化していました。しかし、新宿区の場合はいろいろ理由もあると思いますけれどもなかなかできてない。私としては、地区ごとに色々問題が多いことを、役所として色々検討して欲しい。足りなければ私もどんどん出かけていきますし、皆さんもそれに参加するのはやぶさかでないと思います。そういう方向で行きたいと思います。以上です。
 - ： 歌舞伎町視察ということでございますが、大変役所の方も力を入れて歌舞伎町周辺清掃をしていると思いますが、その具合はどうであったのか、一言感想をお願い致します。
 - ： 私の生活範囲から見てですけれども、分別をかなりうるさくこうやろうと言っているのですが、真面目にやっていったら損かもしれません。歌舞伎町の実情は、私たちの住宅のようにはいかないと思いますので、そういった点で業者、行政と一緒にやったらいいのではないかと

と提案したいところです。以上です。

●： ご苦労様でした。

○： 他にご質問ございませんか。

●： 昨年末、早稲田大学教授で元三重県知事の北川氏をお呼びしての職員の行政改革の勉強会に区民として参加させて欲しいという希望を申し上げましたが、そのような計画はないと拒否されたのは非常に残念でした。こういう申し入れをした時に、区民と共に参画するというような区の意向でしたら、それを受けて頂いてもよさそうですね。せっかく努力して頂いたのに、非常に残念だなと私たちも思います。

北川先生、田村先生、森田先生の話聞いて、是非聞くだけでなしに、その状態と我々の生活とをどう結びつけるかということ、その後の懇談会でやって欲しいのです。先ほど職員に北川先生の感想を見せてもらいました。すばらしいことが書いてあります。けれども実際はなかなか進まないのですね。一緒にどうやってそれを実現に向けていくかという話を、区民と職員と、議会の議員と、そして皆さんとで話し合えるといいのではないかと私は提案したいのです。以上です。

○： ありがとうございます。

●： 資源循環班で廃プラの見学のこと、レジ袋のことを一言話したいのですが。

○： どうぞ。

●： 私たち資源循環班で10/24に杉並区の早朝のゴミ半減運動を見学に行きました。新宿区よりもかなり進んでいるところを見に行きましたので、後で写真を見て頂きたいと思います。私が杉並を気にしたのは、レジ袋を削減しようと、すごく力を入れているからです。コンクールも見てきたのですが、かなり行政が力を入れて、お金を使ってこういうことを行っているのですが、マイバックを持って来る人が未だに30%だそうです。新宿区とあまり変わらないと思いました。どのようにお金を使うべきか、運動をするべきなのかということが、課題だったと思います。

○： 視察の報告どうもありがとうございました。次に環境教育・学習班の視察報告をお願いします。

②環境教育・学習班

●： 私たちは、みんなで楽しんで歩きたくなるまちづくりという目標で、新宿区を知る、歩いてみることを行っています。環境が異なっていると言われる下落合3、4丁目と、新大久保、歌舞伎町の方に向かって歩いてきました。歩いた日が10/23で今から一月も前のことだったので、季節的にもずれているかもしれません。日曜日でしたので、ごみ収集のない日でした。

目白駅を出発しまして、目白駅は明治18年、高田馬場は明治43年が開業ですので、目白駅の方が早く拓けていました。元々、この地域は御禁止山おとめやまという将軍のご領地だったところで、明治になりまして、南半分を相馬子爵、北半分を近衛公爵が所有することになりまして、その間に東京電力の町長さんが所有することになりました。元々そういった経緯がりますことから一軒一軒の土地が広く、また、どこの家もブロック塀がく、ほとんど垣根です。ずっと歩いて

いってもブロック塀がほとんどくて、皆さんそれぞれブロック塀を作るよりも木を植えることがテーマとなっていて、環境を守るため、皆さん植木を植えて垣根を作っています。どこの家にも必ず住宅の一部に木が植わっています。

今、近衛公爵のお宅があったところは、日立さんの迎賓館、日立クラブという建物になっています。周囲3メートルほどの大きなケヤキの木が住民運動もあり、道路の真ん中に今でも残っています。また、交番の他に駐在所もありまして、警察官が家族でお住いですので、私たちはすごく安心して暮らせます。

これは本田さんが自分の家を建てる前に仮住まいしていた所で、寄付という形ではなくて、おそらく区が買いとったことで今は公園になっています。庭の一角がそのまま残っていますので、庭園と公園が一緒になっているようなところなんです。そのすぐそばに、一軒の家がありまして、そこでは家を建て替えるときに、初めから屋上庭園を作ることを計画してまして、盛り土を2メートルしていました。土だけでなく土に変わるプラスチックのようなものも入れて2メートルにしているそうです。何しろ広いので手入れが大変だそうで、人の手を借りてやっていたらっしゃるそうです。この日はススキがとてもきれいでした。後から持ち主にお聞きしたところ、植えた覚えのない木がいっぱい生えていて、特に雑草と桜がいっぱい生えるのだそうです。また、この地域は第一種住宅専用地域ですので、建物の高さ制限がありまして、3階以上の建物は建てられないそうです。歩いていると、分譲した住宅地に、一緒にいた5人もはじめて見る、むかごのような木も植わってまして、「むかごは食べられる」というような話をしながら昔のものも残っているなと思いました。どこの家も基本的に家を建てれば必ず植木を植えるという感じで、お掃除は気がついた人がするのだそうです。23日は日曜日でしたから、ごみを出す日ではないのですが、ごみが一つも出ていなくて、ネットもみんなしっかりたんでありました。

これは落合中学で御禁止山おとめやまの前です。御禁止山おとめやまは相馬子爵の御庭だったそうですけれども、荒れ果てていたものを地元住民の運動・清掃により、区の公園となりました。ですから、区が管理をしているのですが、月に2回私達の年代の男の方がボランティアで来て掃除をして下さるとのことでした。浮浪者の方が時々入っていますので、学童等は一人では入ってはいけないということでした。

そして御禁止山おとめやまを抜けて放射7号線を通り、戸山公園を抜けて、中継所の裏の道を通ってきました。戸山公園も大変広く、子供さんを連れてくる人とか、サッカーをしている子供たちなどがいて、起伏のある本当に素敵な公園だと思いますが、やはり浮浪者の方がたくさんいて、テントを張っていたりするので、個人的にぷらっと歩くにはちょっと危ないと思いました。皆さんは戸山公園をご存知なのでしょうけれども、私たちは戸山公園の事をあまり知りませんでした。こんなに立派な公園もあり、新宿は緑が多いなという感じを持ちながら歩いて参りました。

そして、戸山公園を抜けて新大久保の通りに入っていました。区民の意識調査の中にも緑を残したい、緑の植木鉢を植えたいというように、緑化ということがアンケートの中にも多いということを思いながら歩いてきましたが、自然に草が伸びてきたのかもしれないませんが、やは

りそれぞれ玄関先に植木鉢を置いたり花を植えたり、通りに花を置いたりしていました。

私たちは地方から見れば新宿歌舞伎町というすごいところと言われるような町に住んでいますが、歩いてみて新大久保のイメージが変わりました。やはりきれいな街じゃないかと思えます。みなさんの意識も変わってきたのではないのでしょうか。

23日は13:30～区民会議がありましたので、短い時間でしたけども、ここを通りすぎて、韓国料理をお昼にして、そのまま区役所まで戻ってきました。街歩き、緑を中心に見てきた半日でした。以上です。

○： ありがとうございます。どなたかご質問ありますか。

●： おとめやま公園では、ほたるの増殖・飼育の事業を行っていて、春6月に放すと聞いたのですが、その辺の報告を聞きたいのですが。

●： 落合中学の生徒さんたちも音頭をとりながらヤゴを増やしたり、蛍の解禁の時にはおとめやま蛍祭りというのを行います。ただし蛍が少ないものですから、このぐらいの小さなケージの中に蛍がいて、人間が身を寄せて、夏に暑い思いをしながら蛍が光っているねと観察するような感じです。元は昔から蛍がいたところでもあるわけです。今は養殖し、育てながらある時期に一般公開というような形をとっています。

●： 地域センターでは立派な地図も作っておりますし。これがあれば街の中を歩いてご覧になれますし、「落合歩く見る知る」という歴史をまとめた、立派な本もあります。落合第一地域センターに行けばこういうものもございます。佐伯雄三さんが大正15年に書かれた落合風景という絵もございますけれども、それを見ても本当に田舎ですし、今でもまだまだそういう所が残っていて、一軒一軒の家を受け継ぎながら、代々変わっている地域です。以上です。

○： ありがとうございます。続きまして緑化班からのご報告です。よろしくお願ひします。

③緑化班（地図を使いながら説明）

●： 緑化班の説明を始めます。私たち緑化班は飯田橋から神田川沿いに歩いて視察しました。文京区も隣接しているのですが、新宿区にも真似して欲しいほど水もあるし、環境の良い公園が隣接していました。神田川は小滝橋を除いたら、区境だと考えていただければ良いと思います。全体としては、せつかく水辺ですので、水辺に親しむ公園を是非作って欲しいと思います。新宿区の方の川辺に公園があったり、桜の木が植わっているのに対して中野区の川辺の木はハナミズキなどが植わっていました。まだ細い木でした。まったく新宿区と中野区で景観が違いました。新宿区と中野区で神田川沿いの計画が一致していないようにも思いました。また、落合から高田馬場まではまだ遊歩道ができていませんが、是非川沿いに遊歩道やサイクリングロードを作り、住民が親しめるように工夫していただきたいと思います。桜の名所などもあるのでうまく活用できるのではないのでしょうか。また、高速道路周辺では、乾燥がひどくて、木が細くきちんと植わっていないような印象を受けました。手入れが徹底されていないように思います。また、公園の問題も見てきました。子供達が遊具に遊ばされるのではなく、自然の中で裸足になり、川で遊べるような公園、親子で遊べるような公園を作っていただきたいと思います。

○： 緑化班の皆さん、ありがとうございました。ご質問ありますでしょうか。それでは、次の報告をお願いいたします。

④温暖化班（図を描いて説明）

●： 私たち温暖化班は板橋区に「板橋エコアクション」(IEA)について話を聞きに行きました。板橋エコアクションとはISOの板橋区版です。自分たちで計画し、実行して、その結果を見る、PDCAサイクルというものを行いやすいように板橋区で実施しているものでした。それを聞いて温暖化班に還元する課題が見つかりました。それは、

- ① 新宿区の特徴を捉え、新宿区に定着させる仕組みを考えなければならない。そのためには面白く、わかりやすくなければいけない。
- ② ハード対策とソフト対策、また、その2つを組み合わせたものを3つ考えなければならない。
- ③ 「半宿区民」にどう対策をしていけば良いのか→各事業者や学校の中で対応していけば良いのではないかと話し合いました。

●： ISOは取得や更新で何しろお金がかかります。また中、小企業を対象とした「エコアクション21」も取得、更新で50万円程お金がかかってしまいます。中小の零細企業にはかなりの負担ではないかということで、板橋区はこれを無料で行っています。9月から始めたばかりなので、企業、一般家庭からの参加者はまだ少ないのですが、これから広めていくという段階でした。新宿区版も実現できれば良いなと思っています。

(図と説明)

板橋エコアクション

(IEA)

もっと簡単に取り組むための仕組み



新宿区へ参考に！

- ・ 個人事業者、中小事務所
- ・ 区民
- ・ 昼間人口者たち



対策メニューはいろいろ出ているが、なかなか取り組みが少ない。



継続して取り組める温暖化防止の仕組みをつくる。

ハード(技術)

ソフト(経済)

ハート(教育)

- ： ありがとうございます。質問のある方いらっしゃいますか。
- ： 板橋のISOは何が無料なのですか。
- ： 取得、更新が無料になっています。あとISOと「エコアクション21」は事業者が主な対象ですが、板橋は事業者版と一般家庭版で2つに分かれています。
- ： 温暖化班の皆さん、ありがとうございます。以上4班から視察の報告をしていただきました。短い時間の中で申し訳ありませんでした。班長会議でも、できるかぎりグループワークに時間を割きたいということでしたので、ご了承ください。それでは、グループワークに移りたいと思います。吉田先生、お願いします。
- ◎ (吉田)：皆さん、こんばんは。先ほどまで東京医科歯科大学の教授と今回のインフルエンザは非常に怖いと話していました。情報管理が徹底されず、ある部分のみが取り出されて皆さんを混乱させてしまう事が怖いということでした。その教授は地域で危機管理をしっかりとしていくことがこれから大事だとおっしゃっていました。環境に関しても同じだと思います。環境被害が発生しないようにどう考えていくかも大事だと思います。今日発表していただいた板橋エコアクションも企業や家庭の中で環境を管理し、環境のことを考えリスクが発生する前にそれに配慮していくということです。その教授がおっしゃっていたことは病気に限らず私たちの環境のことについても当てはまるなと思いました。あと補足ですが、ISOとは国際認証機関の一つの規格だと思ってください。それを取得することでその企業が環境に配慮しているという証明になるのです。民間が取り組んで民間が市場の自主管理で始めたのご理解ください。ISOを取得しないと社会では評価されない時代になってきたということです。ただISOを取得するためにはコンサルに委託するだけで300万円ほどかかってしまいます。中小企業ではとても払えないので、環境省で「エコアクション21」というISOの簡単な仕組みを作り始めました。それに伴って各地方自治体でもエコアクションやISOに準ずるもっと簡単な規格をその地域独自の規格で始めています。その一つが板橋エコアクションだとお考えください。また、前回の班長会議では中間発表に向けてどうするか話し合いました。まだ話し合い中ですのでまとめ次第、皆様にもお話したいと思いますが、中間発表を意識しつつグループワークを行っていただければと思います。

(iii) グループワーク (19時45分～20時半)

- ◎ (吉田)：それでは時間になりましたので、各グループ班長さんはまとめをお願いいたします。それでは、環境と美化班からお願いいたします。
- ： 環境と美化の班では、環境に対する予算を新宿区に付けて欲しいとお願いしているのですが区ではまだはっきり決まっていないということ、また、行政がやるのか、住民がやるのか

ということを話し合いました。行政にしっかりサポートをしていただかないと継続性のある取組ができないと思います。

◎ (吉田) : ありがとうございます。それでは、次は環境教育班、お願いいたします。

● : 環境教育班ではこの班の目的が固まってきたところで、目的を意識して具体的な提案を考えていこうと話し合いました。私たちの目的というのは、緑や環境に対する市民の意識のちょっとした向上、皆が楽しんで歩けるような安全安心な新宿まちづくりを目指すということです。具体的な提案は区内にある環境教育施設を総合したようなシステムセンターを運営していこうということです。行政、ボランティアが協力していろんなテーマでその場その場で展開していくのが望ましいと話し合いました。次回までの目標と課題として、実際にこのグループで、現場でこういうものやってみてはどうかということをお話し合っています。

◎ (吉田) : ありがとうございます。それでは、資源循環班はいかがでしょう。

● : 今日はごみや資源の収集方法について検討しました。繁華街の収集、資源収集は民間に任せるのが良い、将来的にはごみの収集も民間に任せるのが良いのではないかとお話し合いました。また、集団回収、これはコストも一番安く、質の良い資源が集まる良い収集方法なのですが、これをもっと住民が参加しやすく継続しやすいものにしていかなければならないと思います。廃プラスチックについても話し合いましたが、廃プラスチックを回収するためには地元分別を徹底しなければならないとお話し合いました。それに関しては環境教育と重なる部分もあると思います。できる地域、できる団体からモデル分別収集をしてはどうかという案も出ました。

◎ (吉田) : ありがとうございます。それでは緑化班、よろしくお願ひします。

● : 緑化班では先ほども発表しましたが、新宿区には緑はありますが、不完全です。それをもっと使いやすい、皆に親しみやすいものにするということで、緑のグリーンベルトを新宿区に作りたいという夢をまとめましょうとお話し合っています。

◎ (吉田) : ありがとうございます。それでは温暖化班、お願ひします。

● : 温暖化班では、地球温暖化防止対策のアクションプランの枠組みをお話し合いました。2025年をめどに3つのことを考えました。まずは

① 身近な取組の誘導と継続

地球温暖化防止の裾野を広げ、鋭力を養うということでアクションプランの構想もあるのですが、単位として小学校区くらいの大きさを作れると良いとお話し合いました。

② 地球温暖化防止の重点的な対策導入による噴水効果を狙う。

ある地域、テーマを一つ成功させて他の地区に広がるような仕掛けができると良いと考えています。

③ 地球温暖化防止の開発技術及び制度を区役所が率先的に取り入れる。

区はISOの認証も受けているし、かなり率先して行っていると思うので、区の現状、これからの方向性を区に確認したいと思います。

◎ (吉田) : ありがとうございます。それでは、エコエコ班よろしくお願ひいたします。

● : エコエコ班ではエコマネーについて話し合いました。Expoのエコマネーを例にとり、と

にかく参加者を得るためには楽しくわかりやすいことが大切だと話し合いました。また、継続的に続けて行くためにも行政の支援に頼らない制度を作っていく方向で検討しよう話し合っています。また、エコマネー以外に地域の取組として、食用油の回収事業など既存のものを利用するにしても、新宿区独自のものを付け加えた形で地域として取り組めるものを話し合っていきたいということになりました。次回は、エコマネーの具体案を検討したいと思います。

- ◎ (吉田) : ありがとうございます。それでは、吉野先生、最後をお願いします。
- ◎ (吉野) : 皆様、お疲れ様でした。幾つか回ってみて感じたことですが、区として期待されている市民感覚を活かしたような大胆な提案という点から見ると、細かい点に落ち込んでしまうのはもったいないと思いました。また、各グループとも他のグループと関係する話しも出てきていると思います。そろそろ第4分科会としての枠組みを考えても良いのではと思いました。課題から直に対策を考えると細かい点に進みますが、課題があってその先の10年後、20年後のこうあるべきだという新宿のイメージが描かれて、課題とイメージとをつなぐものとしての対策に良いものが出てくると思います。小さな対策が述べられても新宿区全体のイメージというものは伝わりません。今の話し合いはある程度収束させて、10年後20年後の新宿区のイメージを分科会として膨らませていっても良いのではないのでしょうか。
- ◎ (吉田) : 吉野先生ありがとうございます。中間発表に関しては何度も申し上げておりますけれども、そろそろ具体的なまとめをお考えいただいても良いのではないかと思います。吉野先生から第1次案を作っていきましょうとご提案していただきましたが、次の班長会議で話し合いたいと思います。幾つかの班では将来のイメージ、方向性を持っておられて、その上で個別の議論をなさっている班もありますし、また、現実の問題から考えられている班もあります。別々のルートですが目標は同じ終着点ですので、そろそろ中間の終着点を考えましょう。次回は班長会議で話し合い、皆さんとディスカッションしたいと思います。班を分けるときに、皆さんで共通意識しておこうと言ったのは、外国人の方や半日区民が多く存在するなど新宿区の特徴を考え、また、時間軸を踏まえて将来をみすえようということでした。それらを意識して議論していただきたいと思います。

3. 事務局からの連絡事項

○ : 皆さん、お疲れ様でした。最後に事務局からの連絡事項です。次回は12月9日金曜日18時30分から20時30分で、場所は本日と同じ、こちらで行います。また、第5回まちづくり学講座は11月28日に早稲田大学国際会議場で行われます。そして12月8日が第6回になります。第6回が最終回になり、未来へのメッセージということで武蔵大学の武田先生と第一分科会の汐見先生にご講義頂きます。場所は四谷区民ホールになります。最後に次回班長会議についてですが、12月2日金曜日交流の場で18時30分から開催いたします。また、次回の分科会は12月9日に開催されます。よろしくお願いたします。お疲れ様でした。

以上